



社会就労センター「セルプ」

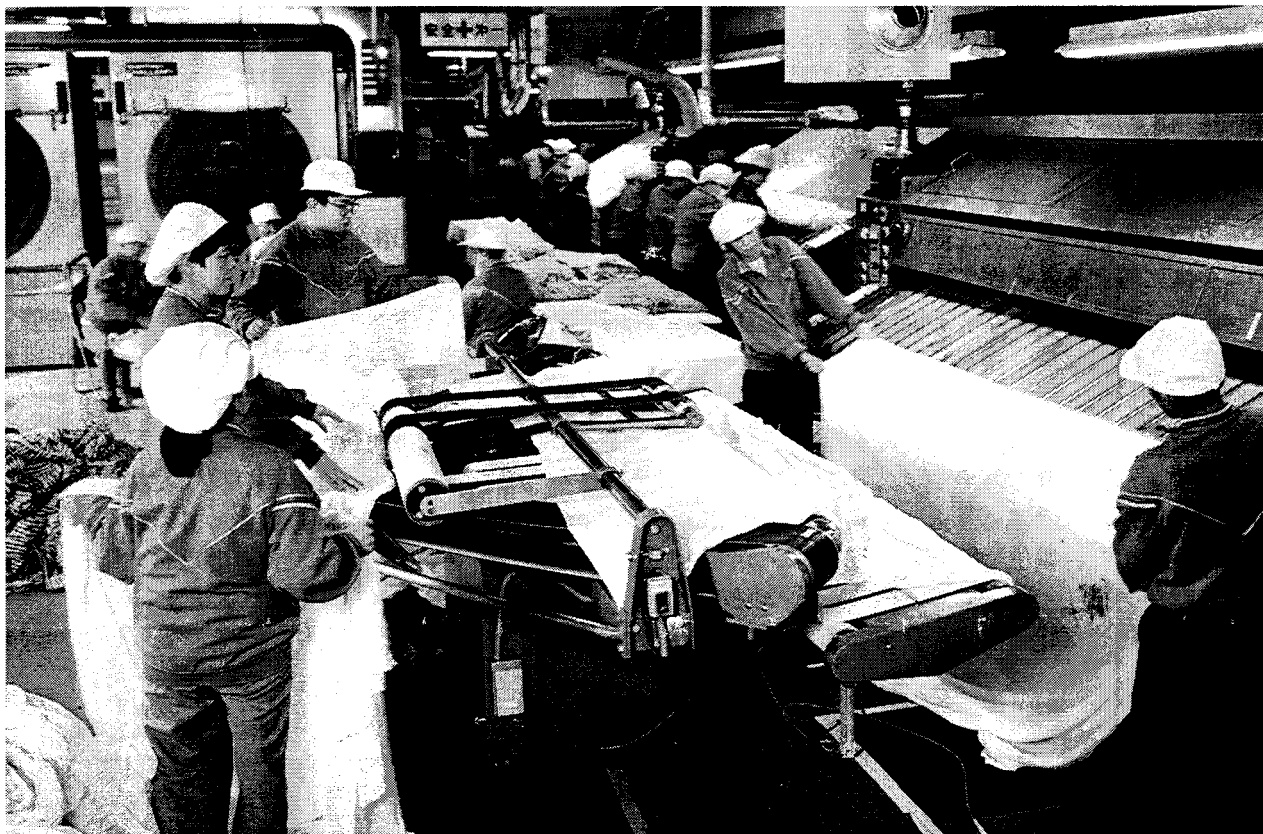
石川セルプニュース

翔

(チャンス)
障害者に働く機会を!
(チャレンジ)
挑戦する勇気を!
(チェンジ)
よりよい改善を!

NO. 2

発行
石川県社会就労センター協議会
編集
会報研修委員会
〒920-0946
金沢市本多町3丁目1番10号
(石川県社会福祉協議会内)
TEL (076) 224-1212



働く仲間 (南陽園)

施設紹介

社会福祉法人 南陽園

加賀市潮津町ム69-1

南陽園は、重度身体障害者授産施設として昭和50年に設立し、今年で創立23年を迎えます。定員は、入所86名、通所は今年度より、これまでの10名から19名に拡大し、リフトバスを運行します。

作業科目はクリーニング科、ダイアパー科、タカラ新生科、クラフト科の4科目です。クリーニング科は、旅館の浴衣やタオル、福祉施設、病院などのシーツや包布のクリーニング、ダイアパー科は、老人施設や保育所のおむつのクリーニングやリース、タカラ新生科は、(株)ダスキンから委託されたマットやモップの修理、クラフト科は、木工製品やアートフラワーなどの小物製作販売を行っております。どの作業科目も、様々な障害に応じた、また、個性を尊重した科目となるよう配慮し、

より高い工賃を目指すコースと、生きがいを目指すコースとに分け、個々の能力に応じた作業工賃の支給をしています。

地域で暮らしたい! 自立したい! という方もおり、園の前にある自立訓練棟「ふれあい八汐ホーム」で生活し、日々自立に向けて頑張っています。

また、入園者の福利厚生として、毎年国内研修旅行や海外旅行も実施しています。年間を通して、行事も頻繁に行い、全体研修会、ピアガーデン、クリスマス会、もちつき会など盛りだくさんです。余暇活動支援として、お花、陶芸、料理、ワープロ、スポーツ、パソコンなどのサークルを月1回実施しています。外部講師もお招きし、あわせて地域交流もはかっています。

障害者の人々に生きる喜びを提供できる施設づくりを目指しています。

～翔点～

機関誌「翔」に期待して

石川サニーメイト

石川県身体障害者福祉工場 今 英 男

石川セルフ振興センター機関誌発刊は、県内セルフ施設はもとより、全国にも重要なネットワークをもつうえでも、重要な意味をもっています。セルフCIから、4年。

様々な職責問題を抱えて、セルフスタッフは、障害者福祉のあり方について、孤独に悩んでいたのではないだろうか。

ネットワークは仕事をします。情報の流通です。私の考えを貴方へ、貴方の思いを多くの人々へ、福祉専門職の持つ共通の認識の上に立って、地域のニーズに答えることができるのです。セルフパザー、フェアだけでなく、施設を、障害の在るひとびとの価値観を、機関誌で伝えてください。

全国セルフ協、アジア、世界、また平成10年は、大きな変革が想定されます。福祉制度の基礎構造改革です。三審議会の答申も秋には出るという事です。労働福祉省問題も見逃せません。各地域においては、市町村単位で障害者長期プランが作成され、社会的責任と障害者本人の自立が求められ、いよいよ本格的な社会参加が始まろうとしています。

そんな昨今、我々はどんな方法と手段でサポートし、どんなハートで答えをだすのか問われるはずで。専門職としての資質と介護技術の必要性が、我々の社会からの期待への答えとなるはずで。公益法人への責務としての情報公開も始まり、より質の高いサービスへの期待へ答えなければならないスタッフは、明確な職業意識を持って職務にあたらなければなりません。SELPは貴方に期待しています。

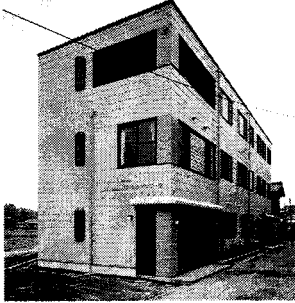
救済としての福祉ではなく、同情としての福祉ではなく、障害者基本法の理念にそって人格を意識したサポートへの認識を深め、心身共に健康で明るい専門スタッフを国民は求めているのではないのでしょうか。

この不透明な社会、厳しい経済状況、何を見ても、何を聞いても、悩み多い現代ですが社会はあなたを求めています。必要としています。しっかりしたネットワークで、貴方の声を、貴方の意見をSELP事業へ反映してください。

日々のご苦勞とご努力へ敬意を表し、ご活躍を期待します。

施設紹介～今年度セルフ新加入～

はるかぜワーク



- 【開設年月日】
平成7年4月
- 【定員】
20名
- 【作業内容】
クリーニング
漆器梱包
- 【作業時間】
月曜日～土曜日
9:00～17:00

通所授産施設「はるかぜワーク」は精神障害者社会復帰施設として、県内で初めて開設されました。作業を通じて就労に向けての力を蓄えると共に、自分らしく生活できるように利用していただく施設です。

(社福)朋友会 通所授産施設 はるかぜワーク
〒922-0831 加賀市幸町2-60
TEL(07617)2-4545 FAX(07617)2-7030

日本海倶楽部

5月、能登・内浦町に開設した知的障害者授産施設日本海倶楽部は授産施設としては全国で初めて地ビールの生産を行なうとともにその販売をレストラン、牧場の運営を主として行ないます。利用者は当面、ビール生産の一部に参加するとともに、ビン詰め、梱包、配送、レストランでのサービス、厨房、牧場でのエミュー、山羊・ポニーの飼育・繁殖に従事することになります。これらの活動を通して障害の重い人達の参加と高い作業賃金を保障できればと考えています。入所施設として生活の質の追求とともに「職住分離」にも配慮し、木造、小舎、全室個室を用意しグレードの高い生活環境が整えられたと自負しています。まだ歩き始めたばかりの施設ですが「人と動物と自然」が融和したエリアの創造と地ビール生産等を通して「地域おこし」の一端を担うという気持ちを持って頑張っていきたいと思っております。よろしくお願致します。

〒927-0605 珠洲郡内浦町字立壁92
TEL(0768)72-8181 FAX(0768)72-8282

社会就労センター協議会より

今年度の事業から

平成10年度予算案

事業内容

- ・のびやか賞の実施
- ・セルフニュース翔の発行(年4回)
- ・県内組織の強化 ・予算対策活動
- ・石川セルフ振興センターを設置し、共同受注、販路促進に努める。

研修予定

- ・全国社会就労センター総合研究大会
6月17日(木)～19日(金) 新潟県新潟市
- ・石川・福井セルフ協合同セミナー
9月7日(月)、8日(火)
- ・東海北陸社会就労センター研究協議会(石川)
10月19日(月)～20日(火) 金沢市
大手町 KKR金沢
- ・全国社会就労センター職員研修会
11月10日(火)～12日(木) 長崎県長崎市
- ・全国社会就労センター長研修会
平成11年2月17日～18日 東京

収入の部

科目	予算額(円)	備考
会費収入	197,800	200円×定員数
補助金収入	95,000	5,000円×19施設
繰越金	121,000	
その他	1,000	預金利子
合計	414,800	

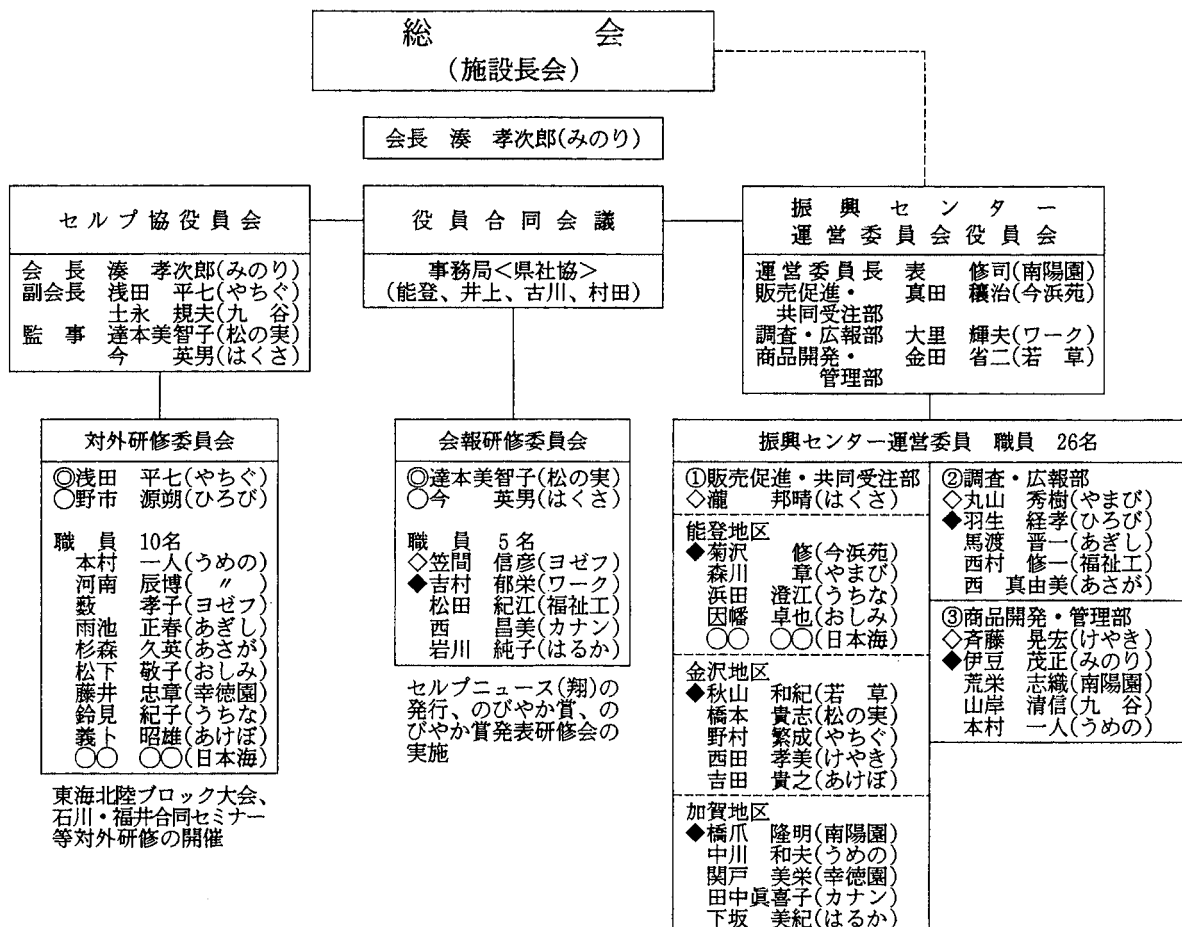
支出の部

科目	予算額(円)	備考
事務費	65,000	切手、葉書、電話代等
会議費	80,000	総会、施設長会、委員会等
事業費	170,000	
派遣費	55,000	協議員総会等
雑費	22,000	
予備費	22,800	
合計	414,800	

のびやか賞 今年もふるって応募下さい

締め切り 9月30日 発表会来年2月の予定

平成10年度石川県社会就労センター協議会事業推進体制



- ・◎は委員長、○は副委員長、◇は部長、◆は副部長
- ・県内施設数25施設
- ・各施設から2名担当(施設長含む。施設長が出ていない場合職員2名)。

- ①イベント・フェアでの販売、パンフレット活用による販路拡大、共同受注等
- ②センターのPR(マスコミ関係)、施設実態調査等
- ③商品実態調査、商品販売研修会、商品開発会議等

セルプ振興センター 2年目に入る

石川セルプ振興センターが2年目にあたり

予算大幅アップ

セルプ振興センター運営委員長 表 修 司

昨年、石川セルプ振興センターが発足し、皆さんの精力的な活動により当初目標額を大きく上回り、初年度としては、まずまずの成果を上げたのではないかと思います。

今年度石川セルプ振興センターでは、目標売上げ金額1千万円をたてました。セルプバザールをセルプフェアに、各種各地で開催するイベント販売をセルプショップに名称変更し、そのセルプフェア・セルプショップ等にバーコードを導入し、市場の動向、消費者のニーズ、商品の売れ行き等を分析し、各施設にセルプニュース(翔)を通じて情報提供をし、本年度も障害者のための石川セルプ振興センターになるために、それぞれの事業を推進してまいります。

収入の部 昨年度より300万円以上アップ

科目	予算額(円)	備 考
負担金収入	500,000	20,000円×25施設
補助金収入	1,500,000	県補助金
助成金収入	2,000,000	社会福祉・医療事業団助成金
寄付金収入	1,000	
売上手数料	1,000,000	売上げの10%
雑 収 入	1,000	預金利息等
繰越金収入	460,000	
合 計	5,462,000	

支出の部

科目	予算額(円)	備 考
事 務 費	250,000	消耗品、役務費、使用料等
会 議 費	150,000	
事 業 費	3,500,000	セルプフェア会場設営費、バーコードレジスタ購入費、展示棚工事費等
研 修 費	400,000	各種研修会会場借上げ代等
部会事業費	60,000	3部会20万円ずつ
印 刷 費	450,000	商品パンフレット、セルプニュース等
雑 費	30,000	
予 備 費	82,000	
合 計	5,462,000	

石川セルプ振興センター 2年目何をするか?

ポイント

- ①各職員で運営組織化の革新、機動的
- ②加盟全施設で販売対応
- ③法外施設に準会員制度
- ④本年度は手数料10%
- ⑤多彩な企画 ⑥陳列棚拠点拡大 ⑦売上目標2倍
- ⑧複井との合同フェア ⑨レジ活用 ⑩陳列創意工夫

販売促進・共同受注部 3地区17名

- ①フェアの開催(5回→6回)
- ②効率の良いセルプショップ設定
- ③パンフ活用と共同受注開拓
- ④統一商品の陳列 ⑤生きた陳列管理

- 目的** 施設の経済活動の発展
利用者の経済的自立
- 手段** 製品・事業開発、販路拡大
官公需、日雇の受注確保

商品開発・管理部 6名

- ①商品開発・研究会議
- ②商品販売研修会
- ③商品カタログ作成
- ④バーコード・印刷機購入管理

セルプ振興センター
振興センター運営委員会役員会
4⇔3部門

調査・広報部 6名

- ①各種調査実施
情報提供、実態調査、商品分析
- ②宣伝・PR事業
- ③ホームページ開設検討

旧称 商品開発部

売上必達目標
10,000千円
(9年度目標5,000千円)

セルプバザール⇔セルプフェア
イベント出店⇔セルプショップ
多彩な企画、メンバー参加検討
売れる仕掛け割り

旧研修研究部機能 県セルプ協会の「翔」年4回発行

セルプフェア開催予定

(責任施設)	開催予定場所	開催予定期日	担当施設
能登ブロック (今 浜 苑)	アルプラザ鹿島	10月下旬	ふれあい工房あざし
	アルプラザ鹿島	H11 2月	ワークセンター田鶴浜
金沢ブロック (若 草)	ジャスコ松任店	6月19日~21日	松 の 実 園
	未 定	11月	やちぐさ作業所
加賀ブロック (南陽園)	アビオシティ加賀	7月18日~20日	幸 徳 園
	未 定	12月	うめの木学園

.....バーコード導入について.....

今年度からセルプフェアなどでバーコードを導入しています。これにより売上げ集計などがより正確に、よりスムーズになりました。お願い、各商品はそのバーコードを販売前にレジに登録しなければ販売はできません。新商品また価格の変更などは、イベントの数日前までに、商品開発管理部・斉藤(けやき野苑)まで必ず連絡して下さい。

セルフ振興センター各部会から

今年はこちらが違います！

販売促進・共同受注部 瀧 邦晴

平成10年がスタートしております。幸い、去年は皆さんの総力を上げた取り組みにより売上必達目標を突破することが出来、大変感謝しております。引き続き『誰の、何の為なのか』という原点を忘れる事なく、ご協力をお願いします。

本年度より、セルフバザールをセルフフェアと改めました。バザールはナイスハートバザール以来大変慣れ親しんできたわけではありますが、あえて変更しました。岩波・国語辞典でバザールを調べると、デパート、スーパーなどの安売りとなっております。安売りのイメージを払拭することと

販促の為の幅広い多彩な企画を実施していく事が不可欠と判断したためであります。

我々の分野でも常にバージョンアップしていくことが必要であります。売れるための仕掛けを如何に創り上げていくのが課題であります。あるセルフでは、研修会で学んだことを基礎に、2月のアル・プラザ鹿島店でバザールでPOPとディスプレイの工夫により売上を倍増しました。販促では、全体的に売れるために斬新な魅力のある仕掛け創りを考えております。

今年度の活動内容

商品開発・管理部 斉藤 晃宏

商品開発部という名称に管理が加わり、商品管理に関する事項についても我が部が行うこととなりました。

商品管理に関して具体的にすることは、

- ①食品・生活品、それぞれの安全度（PL法等）、商品度のチェックを行うための基準についての研究を行い、講師を招き全体研修会を開催する。
- ②同じような商品を製造している施設ごとに、商品パッケージに対する意見交換を行ってもらう場として、商品改良会議を開催する。
- ③バーコード導入とその管理を行う。

の3点です。

昨年度のものに加え、上記の仕事が増えたわけですが、実り多い研修会をどんどん開催していきますので、ご期待下さい。

最近の活動から思うこと

調査・広報部 丸山 秀樹

調査・広報部は、セルフの広報活動を担当しています。その企画に携わって、最近思うことを書いてみます。

『セルフ商品のイメージ』各施設の商品群を、「セルフ商品」として広くPRしていくことは、その商品ひとつひとつが「SELF」のイメージを構成する要素になるということです。

商品に対する苦情は、「セルフ商品」と、「SELF」自体のイメージダウンにつながることもなるので、商品の品質や安全基準については、必要最低限、確認し合っておく必要があると思われます。

『苦情処理の組織』『SELF』として、全体を広報する関係上、万一、商品に苦情が出た場合は、セルフ組織自体がそれに対処する仕組みを整えておかなければならないのではないのでしょうか。

セルフバザールを開催して

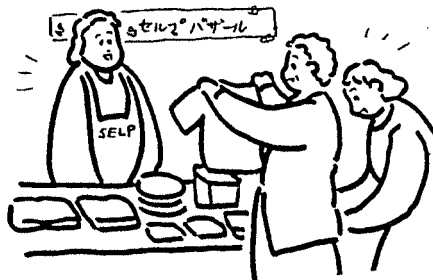
アルプラザ鹿島にて

菊沢 修(今浜苑)

昨年度初めて能登地区のアルプラザ鹿島店で、2回のセルフバザールが開催され、珍しさも手伝ってかそれなりの売上げがあった。

しかし条件的には、かなり恵まれ（日時、売り場など店側の御好意により）それなりに売れて当たり前前のところで、私たち施設の職員は、商品、販売、レイアウト等、今までのセルフバザールの経験から学んで、消費者が必要としている商品をどれだけ揃えることができたか？ 又品切れにはならなかったか？ 売るための販売努力をどれだけしたかなどが試されるバザールであった。

お客様のアンケートでは、「福祉施設の商品だから」と購入された方が半分、「商品が良いから」



が半分であった。当然ながら、私たちは必要とされる商品を研究開発し、商品というクオリティーの高い形にするわけであるが、金がない、能力がない、時間がない、ないないづくしの中でクリーンヒットは何本も打てない。ポテンヒットでも積み重ね、それが有効打となっていつかはホームランになるかもしれない。

私たちはポテンヒットでも質の高い商品を沢山揃えることにより、

「今後何回もこのバザールをやって下さい。」

「小さな規模でも各地でやって下さい。」

「福祉という言葉に甘えないで」など、このようなお客様の声に答えることが出来るのではないだろうか。

(今年度から、セルフバザール⇒セルフフェアです)

伝言板

石川県社会福祉協議会より
一教員免許取得学生の「介護等体験」について—
本年4月1日より、小学校、中学校の教員免許
を取得しようとする学生に福祉施設（児童・障害・
老人施設等）での介護体験が義務づけられること
になりました。本格的に学生が体験実施するのは、
2～3年時（11、12年度）からで、本年度は科目
履修生が中心となり、県内人数は、50～60名程度
の学生が実施すると思われます。

施設と学生のパイプ役は、石川県社会福祉協議
会が行うことになりましたので、ぜひ受入れにご
協力下さいますようお願い申し上げます。

【福祉豆辞典】

☆受容とは

相手の言うことを受け止める受容と、相手の言
うことをすべて認める容認とは違う。受容とは、
もし自分が相手だったらどんな気持ちだろうと想
像して相手を受け止め、わかってあげること。受
け止めた後で、そのことを認めるかどうかはまた
別のことである。

（平成10年5月27日、北國新聞より）

☆セルフ（社会就労センター）とは

障害を持つ人達が働く施設のことをセルフ（社
会就労センター）といいます。ここでは働く意志
がありながら、職業に就く機会に恵まれない人達
を対象に、社会的自立のための訓練や経済的自立
支援をするために生産・販売活動を行っています。

セルフとは、英語で自立自助を意味する
SELF-HELPの造語で、障害を持つ人が自
立をめざして働くことに挑戦するという願いが込
められています。

☆セルフ振興センターとは

セルフ（社会就労センター）活動の充実を図る
ために、施設間の壁を取り払ったセルフフェアの
開催、セルフ製品の紹介、斡旋や委託作業の受注
拡大などの事業を展開し、施設利用者の賃金水準
の引き上げ、経済的自立、社会参加の促進を支援
していく団体です。

石川県社会就労センター利用者数

平成10年6月1日現在

種別	定員(人)	現員(人)	充足率(%)
A. 知的障害	721	694	96
A. 身体障害	333	273	82
B. 小規模	193	168	87
合計	1,247	1,135	91

A：会員施設 B：準会員施設

石川県セルフ地図

珠洲郡内浦
日本海倶楽部 (地ビール)
☎0768-72-8181

鹿島郡田鶴浜
青山彩光苑ワークセンター-田鶴浜 (葉ねぎ)
☎0767-68-3112

七尾
みのり園 (デカ山納豆)
☎0767-53-7266

金沢
あけぼの作業所 (マドレーヌ)
☎076-263-7101
聖ヨゼフ苑作業所 (パン)
☎076-240-6221
ひろびろ作業所 (ウエス)
☎076-260-0906
やちぐさ作業所 (焼菓子、堅パン)
☎076-251-5139
若草福祉作業所 (藍染め)
☎076-244-7731

野々市
けやき野苑 (ハーブ製品)
☎076-248-4871
身体障害者福祉工場 (印刷)
☎076-248-0294
セルフはくさん (紙器)
☎076-248-3204

小松
うめの木学園 (舞茸)
☎0761-41-1301
小松市立 九谷の里 (九谷焼)
☎0761-47-4111

鳳至郡門前
ふれあい工房あざし (りんごチップ)
☎0768-43-1991

羽咋郡押水
今浜苑 (しいたけの佃煮)
☎0767-28-2900
キッチンクラブおしみず (パン)
☎0767-28-8100

河北郡津幡・内灘
やまびこ学園 (竹炭)
☎076-289-2277
うちなだ福祉作業所 (クッキー)
☎076-286-6386

松任
松の実園 (おからクッキー)
☎076-276-6452
セルフあさがお (パン)
☎076-274-9177

加賀
南陽園 (クリーニング)
☎07617-4-6613
カナン園 (山中産器)
☎07617-7-1500
幸徳園 (山中産器)
☎07617-4-1609
はるかぜワーク (クリーニング)
☎07617-2-4545

編集後記

第2号は、新スタッフで、みなさんのアン
ケートをもとに、誌面づくりを心掛けていま
す。

尚、1ページ目の施設紹介は、施設の設立
の古い順に入れていく予定です。また2ペ
ージ目の翔点は、福祉の現状、将来を各施設長
に論じてもらうつもりです。

みなさんのご意見、ご感想をどしどしお寄
せ下さい。

お問い合わせは、
編集委員 笠間（聖ヨゼフ苑）
吉村（青山彩光苑）まで

発行責任者 湊 孝次郎
編集委員長 達本美智子
副編集委員長 今 英男
編集委員 笠間 信彦 吉村 郁栄
松田 紀江 西 昌美
岩川 純子